

農業委員 本人による応募の状況(令和8年3月31日現在)

氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者 等であるか	応募理由	農地利用最適化推進委員 への応募の有無
					形態	耕作面積			
高橋 芳和	農業	67	男	昭和56年3月 東京農業大学農学部農業経済学科卒業 昭和56年4月～平成19年9月 千葉県経済連・全農千葉 県本部 園芸・燃料・パールライス・ 資産管理の業務に従事 平成19年10月～現在 就農 平成29年7月～現在 農業委員	専業	68,096	ある	認定農業者及び農業委員3期の経験を活かし、耕作放棄地・遊休農地等千葉市内の農業・農地のおかれている状況を見直していかなければならないと思い、再度農業委員として活動してみたいと思い応募しました。	応募しない
小安 政夫	無職	74	男	平成18年～ 市川市経済部長 平成21年～ 市川市法務部長 平成23年～ 市川市総務部長 平成24年～平成27年 市川市商工会議所 専務理事 平成29年～ 民生委員・児童委員	耕作は 行って ない	0	ない	農業及び農地の利用について関心を持っている。市川市経済部長の職にあった際には、農水産を所管していた。法務部長の職にあったときには、JA関係者と農業や農地について多くの話をさせていただいた。まだまだ元気なので、千葉市の農業委員会運営のお役に立てればと思い、応募した。	応募しない
野崎 邦子	農業	55	女	平成元年～平成16年 株式会社関電工 平成17年～平成22年 日本生命保険相互会社 千葉支社 平成22年～現在 農業従事	専業	34,000	ない	新規参入、遊休農地問題、農業の高齢化等、千葉市のみならず日本全体の農業の問題は明白であると思います。その一つ一つを自分の住む市町村から視野を向け、先輩方の貴重な経験や知識、意見をお聞きし、それぞれの課題に一つ一つ取り組みながら、新しい農業の橋渡しになればと思い応募させていただきました。	応募しない
猪野 敬幸	農業	46	男	平成14年4月～令和5年1月 千葉みらい農業協同組合 在籍 令和5年2月～ 就農 令和5年6月～ 株式会社タナモ・フォレスト 代表取締役 就任(森林資源管理及び土地管理業) 令和5年7月～ 千葉市農地利用最適化推進委員 就任 令和7年5月～ 千葉市森林組合 理事 就任	専業	47,000	ある	3年間、農地利用最適化推進委員として現場調整や農地集積に携わる中で、制度運用と意思決定の重要性を実感しました。現場で培った経験をより広い責任の下で生かすため応募いたしました。	応募しない
秋葉 重雄	会社員	67	男	2011～2026年 千葉市権名ライスセンター 1981年4月～現在 千葉日産自動車(株) 現在パート社員	兼業	2,392	ない	南部土地改良区内にあり、農地所有者は高齢化、機械の老朽化が進み離農者がふえており、その受皿となっている。農業生産の基盤である農地の確保と農地中間管理機構の活用を進めたい。	応募しない
平山 泰朗	会社経営	54	男	平成11年12月27日～現在 株式会社おひさま総合研究 所代表取締役/地域活性化事業、農学校の運営 平成17年4月～平成19年3月 NPO法人全国イーコマー ス協議会理事長/電子商取引の普及 平成19年4月～平成21年3月 経済産業省産業構造審 議会臨時委員 平成21年8月30日～平成24年11月16日 衆議院議員 令和4年9月1日～現在 農事組合法人睦のファーム代 表理事/農業生産および農業経営(睦沢町認定新規就 農者)	兼業	4,865	ない	千葉市では農業従事者の高齢化や荒廃農地の増加が課題です。農学校運営の経験を生かし、新規就農や参入支援を通じて担い手を増やし、農地保全と地域農業の持続的発展に貢献したく応募いたしました。	応募しない
大塚 秀行	農業	48	男	平成10年3月 中央工学校 卒業 平成10年4月～平成19年3月 五稜建設株式会社 入社 (工事管理) 平成19年4月～現在 就農 令和4年4月～現在 東部地区出荷組合 会長 令和6年6月～現在 園芸連絡協議会 会長 令和5年7月～現在 千葉市農業委員	専業	115,000	ある	千葉市の農業現場で、培った、経験を活かし、担い手不足や、育成、農地の集約(地域計画の前進)といった課題解決に貢献したく応募いたしました。地域の声を施策に反映させ、持続可能な農業環境を築きたいと考えております。	応募しない

氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者 等であるか	応募理由	農地利用最適化推進委員 への応募の有無
					形態	耕作面積			
石井 一也	農業	41	男	平成15年～令和2年 県立大網高校 嘱託職員 平成19年 県立農業大学校 研究科 卒業 平成19年～現在 平川蘭葉組合 石井洋蘭園、 平川ライスセンター組合 就農 平成26年～現在 千葉市農業委員会委員 就任 令和4年～現在 千葉県農業士	専業	15,000	ある	幼いころより農村に育ち、就農して感じたことの一つに、農業従事者の超高齢化があります。休耕、耕作放棄が増えていることを悲しく思います。農業委員としての経験を引き続き活かして農地を守りたいと思い応募しました。	応募する
炭田 瑞枝	学生	70	女	昭和51年 和洋女子短期大学、卒業 令和4年～8年 法政大学人間環境学部 平成8年～令和3年 積水ハウス(株)営業アシスタント	兼業	3,000	ない	千葉県農業が抱える担い手不足や農地減少の課題に向き合い、農地を守り、持続可能な農業を次世代へつなぐため応募しました。都市近郊農業の強みを生かし農地の適正利用や新規就農支援に取り組み、地域の声を公正に受け止めながら農業振興に貢献する決意です。	応募しない
佐々木 貴史	農業	54	男	1994年3月 日本工業大学 卒業 1994年4月～2005年1月 タカノホーム(株)(現場管理業務に従事) 2005年4月～現在 家業にて就農 2015年～現在 株式会社若旦那ファーマーズ代表取締役社長 2018年～現在 千葉県農業士 現在 下田ふれあい交流施設 役員 有限会社ブリッジ 代表取締役社長 現在 JA千葉みらい 理事	専業	400,621	ある	今、私が農業を営んでいる若葉区更科地区には若手農業者(新規就農者等)が多数います。しかしなかなか日々の農作業が多忙で情報収集や行政に意見を発する機会がないのが現状です。私の場合息子2人も就農し、又、従業員、パートの方も安定し、日々の業務を任せられるようになってきました。 今まで地域農業を支えてきた先輩方や現役若手農業者の推薦もありこの地域の農業の発展、後継者が農業を営む環境維持、若手農業者の意見の集約、耕作放棄地の解消等に貢献できればと思い農業委員に応募します。 私が、他業種から農業参入して、これまで培ってきたノウハウ、実績を農業委員という立場で若手農業者、新規農業者、新規参入法人へ伝えていければと考えたからです。	応募しない